

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論 I		講義	石橋 保子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (2 単位)		30 回	1 年次	通年
授業の目的・概要				
<p>作業療法士は対象者の話や訴えをよく聞き、対象者の生活を良くする使命があるが、そのためには対象者とコミュニケーションをとることがその第一歩である。実習では年代や障害の異なる様々な対象者とコミュニケーションをとる経験をし、その際、医療人、職業人として望ましい態度の習得を目指す。また、将来、作業療法士国家試験合格のためには1年次から基礎学力を確実に身につける必要があり、その勉強の仕方を身に付けることも目指す。</p>				
授業の到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人・職業人として望ましい態度をとることができる。 2. 対象者とコミュニケーションをとり、対象者の思いや生活の一部を説明することができる。 3. 解剖・生理・運動学の知識のまとめを通じ、勉強の仕方を身につける。 4. 半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、妥当な目標を再設定することができる。 				
授業計画				
回	内容			
1	前期オリエンテーション	16	後期オリエンテーション、施設見学発表	
2	障害者福祉施設実習の準備	17	障害者福祉施設実習③	
3	障害者福祉施設実習①	18	障害者福祉施設実習④	
4	障害者福祉施設実習②	19	実習発表②	
5	実習発表①	20	解剖・生理・運動学の知識の整理と小テスト②	
6	授業のノート・レポートの書き方	21	まとめのテスト②	
7	解剖・生理・運動学の知識の整理と小テスト①	22	ディベートとは ディベート実践①	
8	まとめのテスト①	23	ディベート実践②	
9	文献抄読①	24	神大解剖学実習①	
10	文献抄読②	25	神大解剖学実習②	
11	文献抄読③	26	障害の理解とスポーツ①	
12	文献抄読④	27	障害の理解とスポーツ②	
13	ボランティア論①	28	障害の理解とスポーツ③	
14	ボランティア論②	29	障害の理解とスポーツ④	
15	実習後振り返り面談・ポートフォリオ面接	30	実習後振り返り面談・ポートフォリオ面接	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト	30%			
平常点	30%	出席・参加態度・提出物によって評価する。		
その他	40%	ポートフォリオ面接によって評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
<ul style="list-style-type: none"> ・時間中に順番に2～3人のグループに分かれ「いきいきの郷」「愛生園」「友生園」での実習を実施する ・授業予定は前後したり変更することがある。変更があれば事前に通知する。 				